

## 破傷風ワクチンについての説明



静岡県立こども病院 予防接種センター

### 1) 病気の説明

#### ○破傷風

原因は破傷風菌です。土の中に広く分布しており、けがややけど、すり傷から人の体内に侵入します。体に入った菌は増殖し、毒素を産生して神経を侵します。激しいけいれんが起き、進行していきます。現在でも死亡率の高い疾患です。

### 2) ワクチンの効果

#### ○破傷風

予防接種の免疫効果は明らかで、初回接種、追加接種で十分な免疫が得られます。追加接種後の免疫は10年以上続きます。

### 3) ワクチンの特徴

破傷風菌の毒素を精製無毒化したトキソイドを含む不活化ワクチンです。

### 4) 接種方法

初回接種：破傷風ワクチン(破傷風沈降トキソイド)0.5mlを20～56日(3～8週)の間隔で2回接種。

追加接種：初回免疫後12～18か月の間隔をあけて0.5mlを1回接種。

### 5) 副反応

局所の発赤や腫脹が時にみられます。症状が強い場合は、0.1mlに減量します。

### 6) 接種後の注意

ワクチン接種後30分間は院内にとどまり、様子を観察してください。接種部位の腫脹、体の発疹、じんましん、気分不良、嘔吐、咳や呼吸困難などの症状が見られたら、直ちに接種した医師か看護師に声をかけて下さい。この間に全く異常が見られなければ、看護師にその旨、一声かけて帰宅して下さい。

### 7) 帰宅後の注意

激しい運動はさけて下さい。その他はいつも通りの生活を送ることができます。入浴もさしつかえありませんが、注射した部位をこすらないで下さい。